

会長に水木氏選任

大館市 環境審議会 委員20人に委嘱状

大館市は26日、環境審議会を中央公民館で開き、委員20人に委嘱状を交付した。任期は2年。会長に水木暢子・秋田看護福祉大教授、副会長に後藤康孝・秋田職業能力開発短大校長が選任された。

福原淳嗣市長は委嘱状交付に続き、昨年8月の大雨に触れながら「時々小雨になってもう週間以上降り続けた。これがまさに温暖化。温室効果ガスを削減するため、市は県内初のゼロカーボンシティを宣言し、地球温暖化対策実行

計画を作成している。その中に委員の意見を盛り込んでいきたい」とあいさつした。

環境基本条例に基づき、保全や創造に関する基本的事項について調査審議する機関。

2022年度は一般廃棄物処置実施計画や温暖化対策実行計画策定支援業務、し尿受け入れセンター整備事業、公害防止条例施行規則改正などを審議した。

温暖化対策実行計画について環境課は、二酸化炭素排出量削減や再生可能エネルギー導入の目標を設定した上でパブリックコメント（意見公募）を行い、審議会を経て10月1日の運用開始を目指していると報告した。

正副会長以外の委員は次の通り。

藤原仁志（県大館福祉環境部）仲澤和子（大館商工会議所）田中俊彦（大館北秋商工



委嘱状交付が行われた審議会（大館市役所）

.....
会）山内カヅ子（市連合婦人会）鎌田江利子（県北NPO支援センター）山方長久（大館エコマネジ）小山光弘（エコシステム秋田）笹本直人（エコシステム花岡）梶原史洋（エコリサイクル）山脇精悦（タイセイ）佐々木康二（近江商店）武田秀夫（比内農齊社）工藤寿史（秋北清掃センター）藤原清美（公募）伊藤励（同）藤嶋文孝（同）布谷保子（同）工藤侃（同）